

GRIスタンダード

2016年10月19日(水) 発行

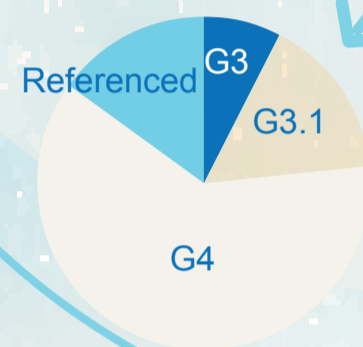
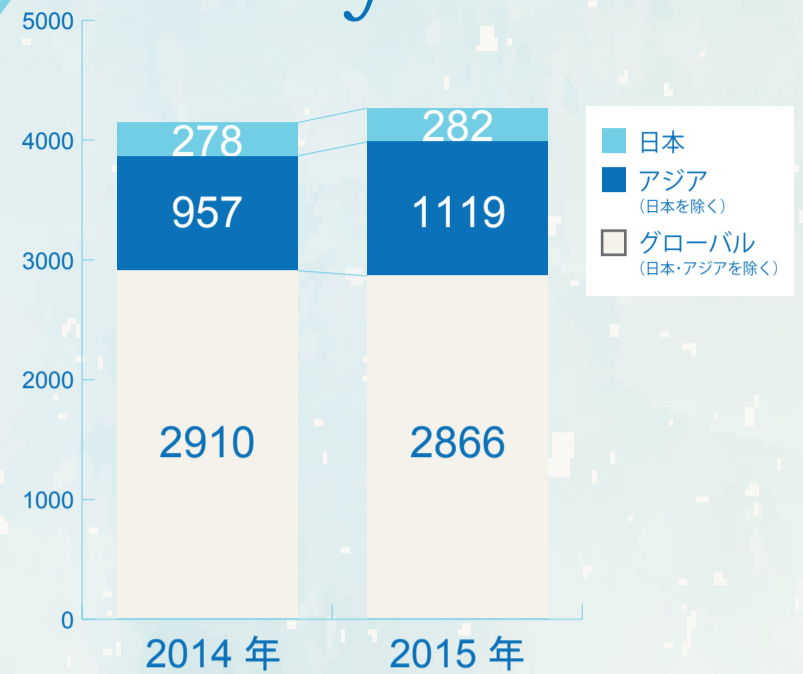
2015年11月の決定から約1年、GRIスタンダードがついに発行の運びとなりました。サステナビリティ情報の開示を手引きするものであるガイドラインから標準に格上げすることで、グローバルに通用するソフトローとして市場に受け入れられることをGRIは意図しています。GRIガイドラインは「サステナビリティ」という抽象的な概念を具体的な指標として可視化したものです。今回の変更はGRIガイドライン第4版（G4）を基にして、それを標準へと移行することからすべての指標が要求事項になるといった形式的な変更となります。

とりわけGRIガイドラインに馴染みのある日本企業にとって、非財務情報の主流化を好機と捉え、市場での競争力につなげていただきたいと思います。

標準への移行の背景には、投資家が新たな企業価値として「ESG情報」の利用に関心を寄せていることがあり、2017年からEU会計指令が加盟各国で施行する非財務情報開示の義務化も大きく作用しています。

これらのことを踏まえ、これまで持続可能な経営を目指す企業をはじめ、さまざまな組織の活動を後押ししてきたGRIの新しい動きに周辺情報を交えてお伝えしていく役割をサステナビリティ日本フォーラム（Sus-FJ）で果たして行きたいと考えています。

Why?



■ 図表の説明

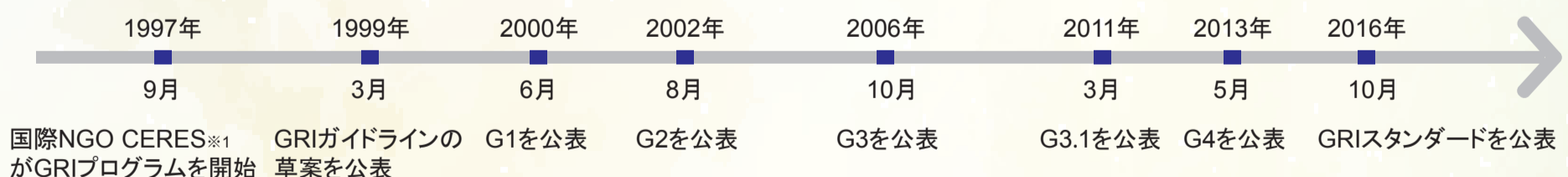
右上の棒グラフは、近年のGRIに沿ったレポートの件数を表すものです。

対象母数：GRIが公表しているレポートリストより「Non-GRI」を除く合計件数。2014年：4145件、2015年：4267件

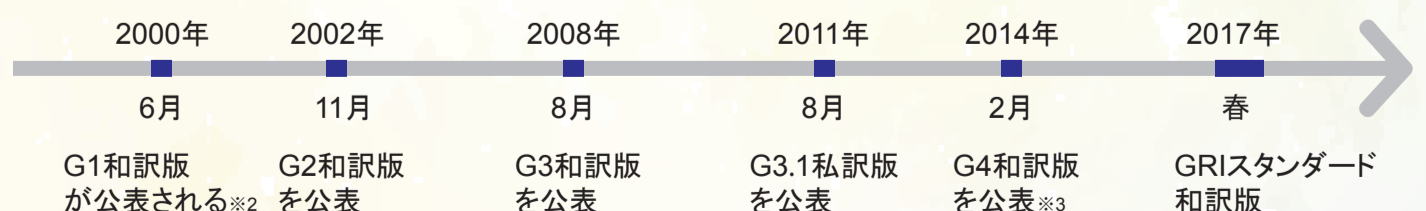
日本、アジアでGRIに沿ったレポートが増えており、全体でも増加の傾向にあります。また、円グラフは2015年の合計件数の内訳を示しており、G4に沿ってレポートする企業が60%を超えていることが分かります。さらに、持続可能な発展のための世界経済人会議(WBCSD)が、2016年10月4日に公表した“Reporting Matters (レポートングマター)”でも、加盟企業対象163社中、87%の141社がGRIガイドラインを参照しており、そのうち92%がG4の枠組みに沿うかたちでレポートを実施しているとの最新データもあります。

GRIレポートングリスト公開URL：<https://www.globalreporting.org/services/preparation/Publications/Pages/e-shop.aspx#ReportsList>

GRIの歴史



Sus-FJの動き



※1 Coalition for Environmentally Responsible Economies:環境に責任を持つ経済のための連合

※2 代表理事の後藤が監事を務める環境監査研究会にて和訳。その後Sus-FJへ移行

※3 G4マルチステークホルダー委員会が組成され、主要メンバーとして参画し、和訳版を発行

協賛金募集について

非財務情報開示の大きなうねりはますます高まり、今後さらに大きな意味を持つと言われていています。財務情報では読み取れない将来情報としての非財務情報、企業の長期的価値創造のための報告に注目が集まっているためです。

さらに、社会のサステナビリティという観点からは新興国に経済的な比重が移り、人口増加もそうした地域で起こる一方で、環境面・資源面での制約がますます顕著になってきています。そうした中、市場が自立的に制約条件に対してソフトランディングしていく仕組みが求められています。その際に非財務情報開示のこれからのあるべき姿を示すGRIスタンダードは有用かつ重要なツールとなるものと思われまます。

こうしたGRIスタンダードを日本企業の皆様に届けるため、翻訳プロジェクトのための協賛金を募ることと致しました。皆様から広く賛同を得ながら、英語を除いた自国語のスタンダードを世界でいち早く皆様のお手元にお届けしたいと考えております。下記、ご参照の上、ぜひご協賛いただければと存じます。

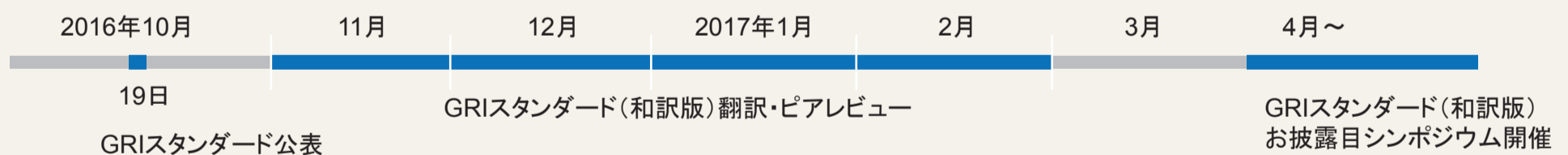
協賛金内容

協賛金名称:「GRIスタンダード翻訳 協賛金」

	費用1口	募集枠	協賛に対するお礼
	50万円	2社	Platinumスポンサーとしての企業ロゴの掲載※4 スタンダードお披露目シンポジウム・昼食会への招待(5名)※5、告知冊子への広告掲載
	30万円	6社	Goldスポンサーとしての企業ロゴの掲載※4 スタンダードお披露目シンポジウム・昼食会への招待(4名)※5、告知冊子への広告掲載
	10万円	20社	Silverスポンサーとしての企業ロゴの掲載※4 スタンダードお披露目シンポジウムへの招待(3名)
	1万円	20名・団体	スタンダードお披露目シンポジウムへの招待(1名)

※4 Sus-FJウェブサイト、スタンダードお披露目シンポジウム募集チラシ／配布資料、告知冊子への掲載
※5 昼食会へのご招待枠はPlatinumスポンサー2名、Goldスポンサー1名とさせていただきます

GRIスタンダード(和訳版)に関する今後の取組み(予定)



協賛金のお申込み方法

別紙のGRIスタンダード翻訳協賛金申込書に必要事項をご記入の上、件名を【GRIスタンダード協賛金申込み】として、サステナビリティ日本フォーラムまでお申込みください。

✉ info@sustainability-fj.org

FAX 03-5423-6921

本件に関するお問合せ

サステナビリティ日本フォーラム事務局 担当: 阪野
〒108-0071 東京都港区白金台3丁目19番6号 白金台ビル5階
TEL: 070-5598-0295 eメール: info@sustainability-fj.org